

# 令和5年度「読書県しずおか」づくり表彰 優秀実践

## ■ 団体（個人）名

磐田おはなし とわの会

## ■ 所在地

非公開

## ■ 基本データ

代表者名	大橋 八重子
電話番号	非公開

## 活動実績

ストーリーテリングにより、未就学児から大人まで幅広い年代に対し、生の声で昔ばなしなどのお話を届けている。また、出典本の紹介も行い、読書活動の推進を行っている。

- ・幼児向けおはなし会(市内保育園等3園、市内外図書館3館)：31回
  - ・市内小学校朝読書：12回(計40クラス)
  - ・市内外中学校朝読書等：計11回(計31クラス)
  - ・大人向けおはなし会：5回(市内外図書館3館)
  - ・プレママおはなし会：3回(市内1館)
- 合計：62回

※地元の伝説などを掘り起こして再話を行い各所で語るることにより、地元の魅力を伝える活動も行っている。また、月1回の定例会での勉強会によるスキルアップや会員の交流を積極的に行っている。

## ■ 活動の特色

静岡県子ども読書アドバイザーである会員と、昔ばなしについて学んだ者(小澤俊夫氏主宰昔ばなし大学受講)が運営の中心となっている。

図書館や学校・幼稚園等と連携し、各施設等のニーズに応え、子どもの読書の入り口としてストーリーテリングでお話を届ける活動は、安定しており、かつ安心して任せられるものである。

また、子どもに生の声でお話を語る意義を伝えながら、若い世代の語り手の育成にも努め、年々活動の機会と会員数を増やしている。

## ■ 活動の成果

平成26年度から訪問を継続している保育園の先生からは、子どもたちの聞き取る耳が育ってきていると報告があった。また、幼稚園では、年中・年長の子どもたちが継続してストーリーテリングを聞くことで集中して聞く力がついた。3歳児クラスでも実施して欲しいという希望があり、開始したところがある。

小学校では、玄関まであとをついてきて「また来てね」という子どもたちの声掛けや、普段はにぎやかで明るく活発なクラスが、おはなしが始まると静かに集中して聞く雰囲気に変化する事例もあった。

また、中学校では、おはなしを聞きながらその世界を感じ涙ぐむ姿、おはなしが始まる時には横を向いておしゃべりしていた女子が、途中からじっと耳を傾け、おはなしに聞き入る様子などがみられた。

さらに、図書館では出典本の貸出につながるなど読書活動の推進につながっている。



写真1 人気の「大人のためのおはなし会」40人参加

## ■ 活動体制・組織

設立年度	平成21年度	活動年数	13年
会員数	17人	会則の有無	無
役職の種類	代表、副代表	会報等の発行	無
主な活動場所	図書館、市内 幼保・小中学校	図書館との連携	有



写真2 市内の中学校での語り。じっと聞き入っていました



写真3 おはなし会の後、ろうそくを消してもらいました